

～ 阿久根市橋梁長寿命化修繕計画 ～



令和6年3月 策定

令和8年3月 一部改訂

阿久根市役所 都市建設課

《 目 次 》

	頁
1. 計画の基本方針	1
1.1. 背景と目的	1
1.2. 阿久根市管理の橋梁の現状と課題	2
2. 老朽化対策における基本方針	5
3. 長寿命化計画の流れ	6
4. 点検の方法	7
5. 橋梁補修の対策優先度の設定	8
6. 橋梁の補修について	9
6.1. 補修内容	9
6.2. 新技術の活用について	9
6.3. 新技術の活用による費用軽減	10
6.4. 費用の縮減に関する具体的な方針	10
7. 補修実施計画の策定	11
8. 長寿命化計画による効果	16

1. 計画の基本方針

1.1. 背景と目的

阿久根市は、鹿児島県北西部に位置し、高松川河口の阿久根港を中心に古来から海・陸交流の要衝として海運業・商業などの栄えた町であり、薩摩川内市から阿久根市の中心地を經由し出水市に向かう国道3号、北部には阿久根市と長島町を結ぶ国道389号があり、どちらも交通移動および物流の重要路線となっています。

阿久根市が管理する橋梁は226橋であり、『コンクリート橋(PC橋・RC橋・BOX)は89%の202橋』、『鋼橋は5%の11橋』、『石橋・混合橋は6%の13橋』となっています。

また、一般的に橋梁の設計寿命といわれる50年を現時点で経過している橋梁は、全体の48.6%の110橋であり(図1.1-1)、既に約半数の老朽化が懸念される状況です。

このような状況から阿久根市では、従来の「建設優先」の考え方ではなく、「建設から維持管理に至るライフサイクル」の視点に立った取り組みに移行することを基本方針とした「橋梁長寿命化修繕計画」を平成25年度に策定し、計画に沿って5年に一度の定期点検や橋梁調査・補修工事等の事業を実施してきました。

平成25年に策定した当初計画から約10年経過したことを受け、本計画ではこれまでの事業の実施状況とその間実施した定期点検結果等に基づき、「橋梁長寿命化修繕計画」の更新を行ったものです。

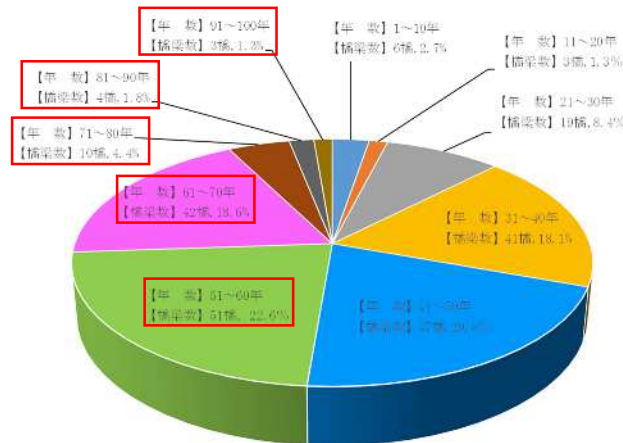


図 1.1-1 管理橋梁の建設時からの経過年割合 (2023 年時点)

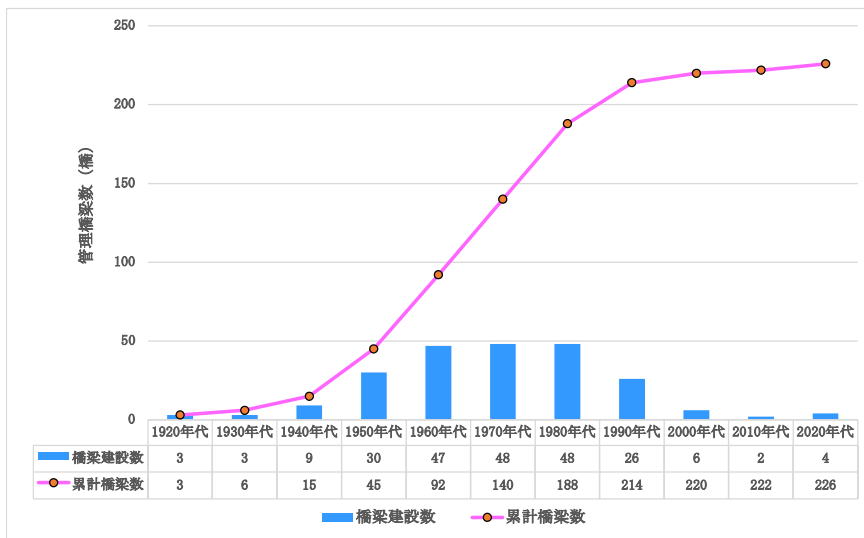


図 1.1-2 管理橋梁の架設年度別数 (2023 年時点)

1.2. 阿久根市管理の橋梁の現状と課題

(1) 橋梁数

阿久根市が管理する橋梁は 226 橋であり、橋種別で分類すると、『PC 橋は 29%の 66 橋』、『RC 橋は 39%の 89 橋』、『鋼橋は 5%の 11 橋』、『BOX は 21%の 47 橋』、『石橋は 2%の 4 橋』、『混合橋は 4%の 9 橋』となっています。主な特徴として、コンクリート橋が多いことが挙げられます。

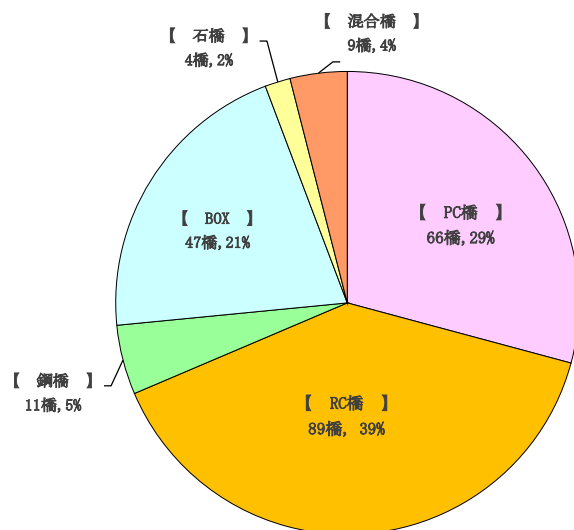


図 1.2-1 管理橋梁の橋種別割合

(2) 橋梁の経過年数

図 1.2-2 から、阿久根市が管理する橋梁 226 橋のうち、令和 6 年 3 月現在において、50 年を経過している橋梁は 110 橋ですが、20 年後の 2043 年には全体の 90.7%にあたる 205 橋（補修実施橋梁を含む）が建設後 50 年を越える事となります。

阿久根市が管理する橋梁は今後急速に高齢化し、大規模な修繕や架け替えが同時期に発生することが予想され、多大な財政負担となることが懸念されます。

このようなことから、橋梁の長寿命化および橋梁の修繕や架け替えに係わる費用の縮減を図ることが大きな課題となっています。

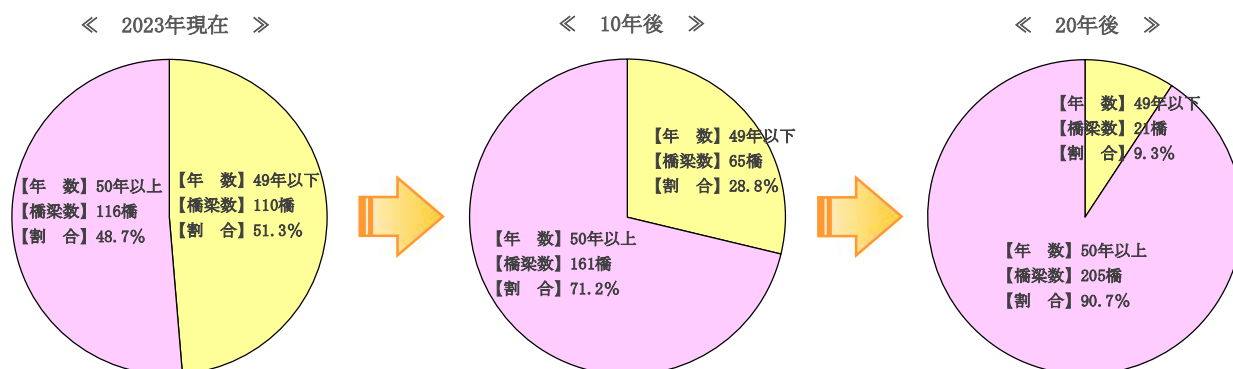


図 1.2-2 建設後 50 年以上の推移

(3) 補修実施橋梁と実施年数

対象橋梁 226 橋のうち、令和 6 年 3 月現在で対策が必要な橋梁は 191 橋、健全（対策不要）な橋梁は 35 橋となっています。

対策が必要な橋梁 191 橋のうち、補修に着手した橋梁（令和 5 年度までに工事が完了した橋梁は 31 橋）は 46 橋です。

今後さらに設計寿命（50 年）を超える橋梁が増加するため、計画的に補修設計等を行う必要があります。

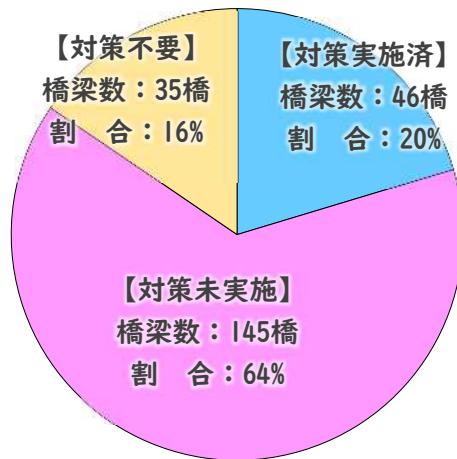


図 1.2-3 補修実施橋梁の割合

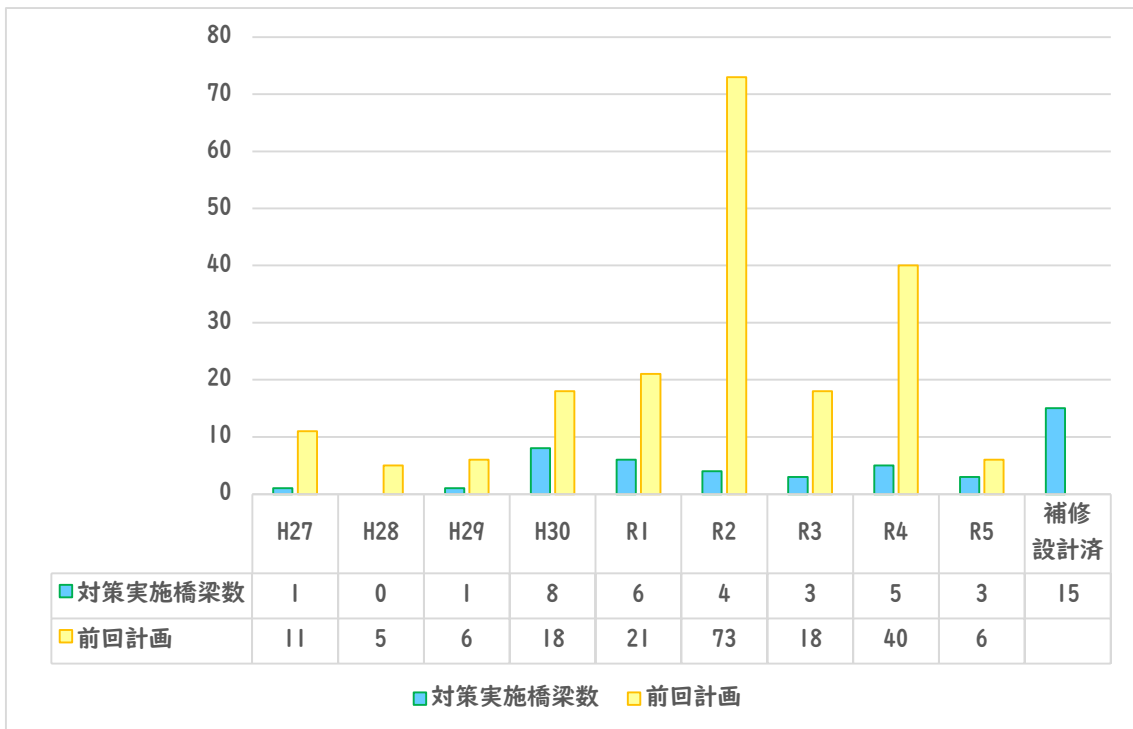


図 1.2-4 補修実施橋梁の年度別数

(4) 橋梁の状況

令和6年3月現在の橋梁定期点検の結果は、以下の通りです。

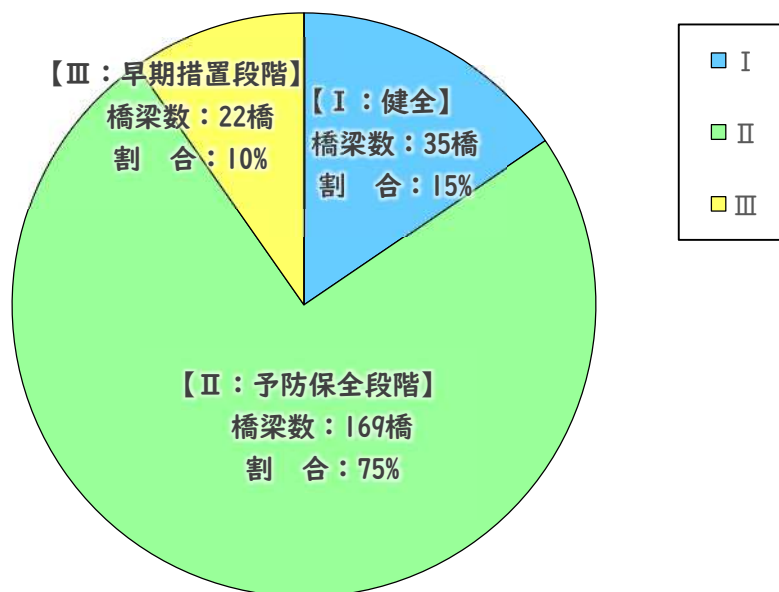


図 1.2-5 点検結果（全 226 橋）

表 1.2-1 健全性の診断区分

区分		定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

※出典：「橋梁定期点検要領(国土交通省)」P.27 より

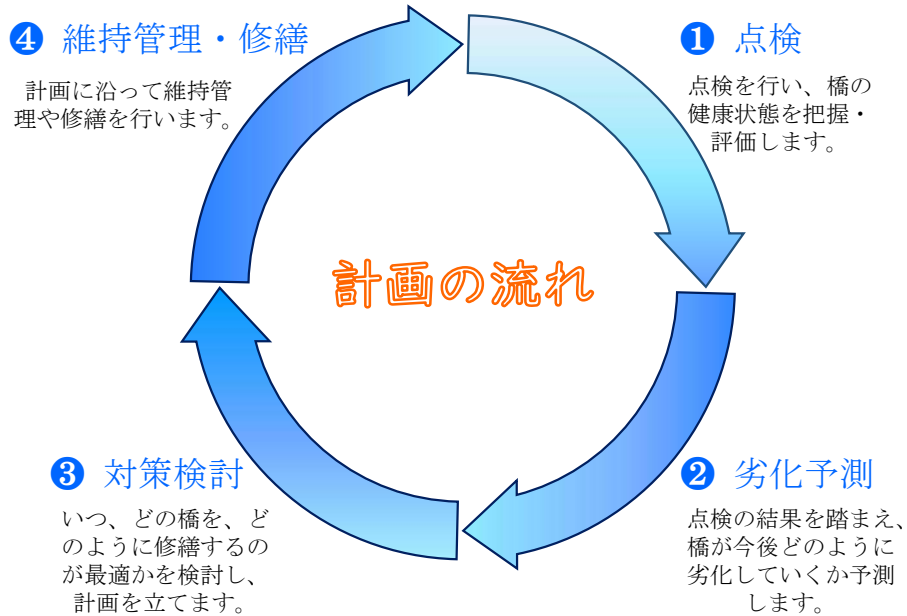
2. 老朽化対策における基本方針

橋梁の老朽化対策における基本方針は以下の通りです。

- ① 健全性の診断区分【Ⅳ】および【Ⅲ】の橋梁は、優先的に修繕等の対応を実施します。（阿久根市では、令和7年度時点で診断区分「Ⅳ」の橋梁はありません）
- ② 上記の対策を実施するにあたり、路線の重要性、環境条件、利用状況等を考慮して対策の優先順位を決定します。
- ③ 道路利用者及び第三者に対する安全性に影響する損傷が確認された場合は、優先的に対策を実施します。
- ④ 老朽化等により損傷が著しい橋梁は、安全性確保のための緊急措置を検討・実施するとともに、架け替え（更新）についても計画的に実施します。

3. 長寿命化計画の流れ

前回橋梁長寿命化計画（平成 25 年度）と同様、「建設から維持管理に至る橋のライフサイクル」を考え策定した、『橋の長寿命化修繕計画』に従って、橋の維持管理を行います。



約 5 年ごとに点検、約 10 年ごとに計画の見直しを実施し、架け替えより修繕を基本として、その時に応じた適切な対策を検討します。

4. 点検の方法

橋梁の点検は、以下の3つに分類されます。

① 日常点検 (パトロール)

- ◇ 損傷や異常を早い時期に発見するために、高い頻度で行われる点検。
- ◇ 日常的なパトロールも含まれる。
- ◇ 主な点検方法として、道路パトロール車の中から目視で行われることが多い。

② 定期点検

- ◇ 5年に1度の頻度で行われる。
- ◇ 損傷の程度から健全性の診断を行い、計画的に実施される点検。
- ◇ 点検機器や橋梁点検車を用いて行われる。

③ 異常時点検

- ◇ 地震・台風・集中豪雨等の自然災害や大きな事故が発生した場合に、臨時で行われる点検。



点検時に行う排水柵の土砂詰まり撤去や舗装の清掃は、支承や伸縮装置への影響を軽減するなど、長寿命化につながります。

5. 橋梁補修の対策優先度の設定

本計画では、補修が必要な橋梁に対して立地環境や路線の状況、劣化・損傷の程度を考慮して、優先度を決めて対策を計画しました。本計画における優先度の考え方は以下の通りです。

① 健全性評価に基づく優先度

R7年度までに実施した橋梁定期点検の結果を踏まえて、橋梁全体の健全度で厳しい評価となった橋梁を優先します。

② 立地条件等による優先度

①の選定方法で判定が同じ橋梁においては、路線の重要性や環境条件等の『優先度指数』を考慮し、優先順位を選定します。

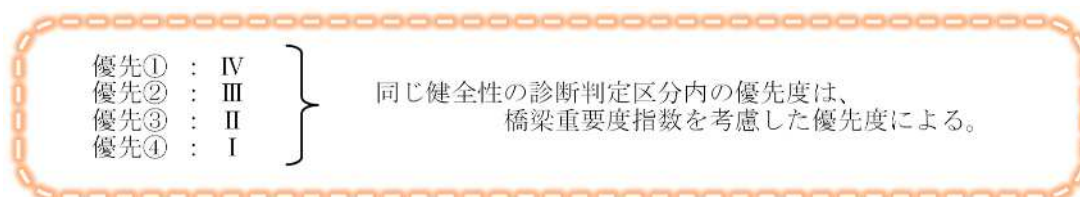
③ ①と②を考慮した総合的な優先度

上記の①、②を考慮した上で、橋梁の優先度を決定します。

表 5-1 立地条件等による優先度の項目

諸元項目	細 別	概 要
交通量	多い・ やや多い・ 少ない	橋梁の使用度として交通量は重要であるため。
交差状況	鉄道・ 道路・ 河川	跨線橋および跨道橋が損傷した場合は、第3者被害の恐れがあるため。
迂回路の有無	あり・ なし	迂回路の有無は、ライフラインとしての道路網として重要であるため。
経過年数	70年以上・ 50年-70年・ 20年-50年・ 20年未満	経過年数が高い橋梁は、低い橋梁に比べ劣化速度が速いため。
橋面積	200㎡以上・ 80㎡-200㎡・ 20㎡-80㎡・ 20㎡未満	橋面積が大きいほど補修の金額がかかるため。
環境条件	一般環境・ 塩害環境	塩害環境(海岸線に近い環境)に位置する橋梁は、一般環境に位置する橋梁に比べ劣化速度が速いため。

表 5-2 健全性の診断区分と損傷程度に基づく優先度の考え方



6. 橋梁の補修について

6.1. 補修内容

橋梁の補修項目や内容は、工事前に橋梁の状況と補修対策を決定するための、調査・補修設計を実施し決定します。

橋梁の損傷状況やその原因に応じて適切な工法で修繕工事を実施します。

6.2. 新技術の活用について

橋梁の点検方法の決定や橋梁の修繕工法決定においては、「新技術の活用検討」を原則実施し、ライフサイクルコスト等の費用縮減を図ります。

新技術は、新技術情報共有システム（NETIS）等を活用し、その状況に応じて最適な新技術の検討を行います。

表 6.2-1 新技術情報提供システム（NETIS）-点検技術（一部抜粋）-

技術番号	技術名	技術概要
BR010002-V0020	超望遠レンズによる高層構造物の外観検査技術	画像から橋梁の損傷（ひびわれ・遊離石灰など）を抽出し、点検調書を作成する技術
BR010003-V0020	構造物点検調査ヘリシステム（SCIMS: スキームス）	ドローンに搭載したデジタルカメラを用いて橋梁を撮影し、変状を把握する技術
BR020003-V0020	デジタル打音検査とデジタル目視点検の統合システム	AEセンサを用いた打音計測装置を用い、デジタル化された情報から、橋梁の損傷（コンクリートのうき・剥離・内部欠陥・ボルトのゆるみ等）を把握する技術
BR020005-V0120	ポール打検機	ポール（最長8m）の先端に取り付けたセンサーヘッドを橋梁に押し当て、聴音によりコンクリートのうきの有無を判別する技術

表 6.2-2 新技術情報提供システム（NETIS）-補修技術（一部抜粋）-

技術番号	技術名	技術概要
KT-220245-A	ナノシリカ系表面含浸材 コンクリートリバイブ CPT-2000	従来実施していた含浸材の塗布前に行う散水作業が不要となるため、施工性が向上して工期の短縮が図れる技術
KT-230056-A	橋梁伸縮装置の止水工法 （KFシーラテクト YKB-J 工法）	伸縮装置の劣化した伸縮ゴム部分のみを除去し、塗料による止水塗膜を形成し補修する技術
GS-180044-A	高耐久性断面修復工法 「タフショットクリート 工法」	ノンポリマーセメントモルタル（独自の材料を配合）を使用することで、優れた強度・耐久性をあげる技術
GS-180020-A	ジョイント「繫」	橋梁地覆隙間部からの雨水などの侵入防止を目的とした隙間止水材であり、地覆部との密着性が高い技術

6.3. 新技術の活用による費用縮減

補修技術において、以下の新技術を活用することで、以下のような結果となります。

阿久根市が管理する橋梁 226 橋のうち、補修対象 14 橋に対して令和 10 年度末（今後 5 年間）までに以下の新技術・新工法を活用することで、約 3,734（千円）程度の費用縮減の効果を目指します。

《 ナノシリカ系表面含浸材 コンクリートリバイブ CPT-2000 》

単価（千円） 【従来技術】	単価（千円） 【新技術】	従来技術（千円）	新技術（千円）
4.0	3.9	4,328	4,193

約 135（千円）
の縮減効果あり

《 高耐久性断面修復工法「タフショットクリート工法」 》

単価（千円） 【従来技術】	単価（千円） 【新技術】	従来技術（千円）	新技術（千円）
120.7	104.0	26,002	22,403

約 3,599（千円）
の縮減効果あり

6.4. 費用の縮減に関する具体的な方針

橋梁の管理には、点検に係る維持費や修繕に伴う維持工事費等の費用が必要になります。費用の縮減方法において、前項で述べた新技術活用による方法のほかに、老朽化した橋梁を廃止し集約化することにより、維持管理に係る経費の縮減や効率化が期待されます。

阿久根市では、現時点において、近傍に迂回路があり利用頻度が極めて低く、修繕工事を必要とする施設がないため、集約・撤去による費用縮減は困難であるが、ライフサイクルコスト縮減のため、社会経済情勢及び施設の利用状況並びに地元の意見を踏まえ、令和 10 年度までに 1 橋の集約・撤去について検討し、約 30 万円程度の費用縮減の効果を目指します。

7. 補修実施計画の策定

阿久根市が管理する 226 橋において、前述の考えに基づき更新した計画一覧表を以下に記載します。

表 7-1 計画一覧表 (1/5)

【 凡 例 】 ■ : 設計 ■ : 工事 ■ : 点検

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	供用年数	対策時期										補修工事費用 (千円)	対策内容	
					R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15				
225	大曲橋	波留高松線	1970	56												110,395	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工,支承:取替工
185	浜田橋	波留大曲線	1973	53												121,200	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工,支承:取替工
216	港橋	琴平港橋線	1978	48	30,000	125,000	143,000	143,000	131,000							436,553	床版:橋面防水・含浸&ひびわれ注入&断面修復
124	佐潟橋	佐潟臨港道路線	1973	53	118間目	118間目	2保間目	3保間目	下部工事の集							35,318	床版:橋面防水・含浸&ひびわれ注入&断面修復
117	尾原第三橋	尾原線	1969	57												12,985	床版:床版防水工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
49	八郷橋	八郷本線	1989	37												8,028	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
54	黒之上橋	黒之上東支線	1956	70												2,565	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
198	前川原橋	山下糺野線	1970	56												47,594	主部材:1種ケレン&当て板補強,支承:取替工
138	出羽橋	出羽線	1961	65												26,406	床版:床版防水工&ひびわれ注入&断面修復
142	小麦橋	大角線	1957	69												19,216	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
75	半田橋	半田線	1945	81												24,827	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
128	榎宇都橋	榎宇都線	1957	69												2,185	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
211	岩下橋	松岡支線	1974	52												86,349	横桁:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
206	中屋敷橋	中屋敷線	1929	97												15,037	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
119	尾原第五橋	尾原線	1977	49												5,915	主部材:1種ケレン&当て板補強
127	下越橋	飛松下越平線	1956	70												5,821	床版:床版防水工&ひびわれ注入&断面修復
100	金石橋	金石線	1941	85												5,544	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
114	洗出橋	洗出し線	1969	57												1,683	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
88	第2内田橋	牧内内田線	1963	63												8,807	床版:床版防水工&ひびわれ注入&断面修復
207	神之山橋	中屋敷線	1963	63												20,701	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
112	水俣木橋	藤ヶ段線	1964	62												30,000	下部工:洗堀部補修工(コンクリート巻立)
203	永原橋	永原線	1971	55												50,000	下部工:洗堀部補修工(コンクリート巻立)
209	第一大川橋	大川線	1963	63												87,671	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
148	鈴木段橋	鈴木段竹之迫線	1926	100												1,409	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
3	黒之浜橋	黒之浜港線	1968	58												58,000	主部材:表面含浸工&ひびわれ注入&断面修復&足場工
189	五十地橋	五十地線	1981	45													
15	落下橋	中央線	1978	48													
37	弓木野橋	横ヶ倉線	1977	49													
43	小鹿倉橋	大川本線	1957	69													
63	陣之尾筒田橋	陣之尾筒田線	1983	43													
67	第1折口鑛石橋	折口鑛石線	1960	66													
83	川内橋	大下上桑線	1991	35													
86	藤橋	折口圃地線	1980	46													
90	下桑橋	桑原城中線	1963	63													
92	桑原城橋	牧内桑原城支線	1929	97													
106	南波留前橋	湯波留線	1982	44													
107	湯波留橋	湯波留線	1982	44													
108	五色浜橋	倉津遠見ヶ岡線	1979	47													
122	木佐木野橋	木佐木野中線	1979	47													
125	大川島橋	大川島線	1969	57													
131	第1馬見塚橋	北平線	1961	65													
136	中津川橋	大川本線	1958	68													
139	御法橋	尻無本支線	1973	53													
144	徳口橋	徳口線	1960	66													
146	えりがわうち橋	南畑線	1971	55													
150	駅裏橋	上野丸尾	1947	79													
151	丸尾橋	上野丸尾	1984	42													

表 7-1 計画一覧表 (2/5)

【 凡 例 】 ■ :設計 ■ :工事 ■ :点検

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	供用年数	対策時期										補修工事費用 (千円)	対策内容
					R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
165	楠田橋	阿久根出水線	1988	38				■						■		
174	山仁田橋	山仁田線	1996	30				■						■		
175	唐田橋	唐田線	1971	55				■						■		
179	上原跨道橋	上原桐野線	1983	43				■						■		
181	楠木橋	中央線	1976	50				■						■		
186	大田橋	農野大田線	1970	56				■						■		
190	第一新田橋	古里上原線	1992	34				■						■		
191	田島橋	折口本線	1967	59				■						■		
192	石ノ丸橋	陳之尾線	1988	38				■						■		
193	平田橋	多田中央線	1977	49				■						■		
195	山波橋	山波線	1975	51				■						■		
197	園田橋	阿久根出水線	1988	38				■						■		
200	堂園橋	栗原堂園線	1981	45				■						■		
212	尻無橋	尻無岩下線	1974	52				■						■		
214	新堀橋	大丸遠見ヶ岡線	1988	38	■					■						
217	塩鶴橋	3-5-7線	1994	32				■						■		
221	山下橋	阿久根出水線	1993	33				■						■		
224	陳之尾平跨道橋	陳之尾平線	2008	18				■						■		
16	新古之迫橋	中央線	1980	46				■						■		
170	新中津川橋	大川本線	2000	26				■						■		
202	松川内橋	松川内線	1962	64				■						■		
1	大瀬橋	黒之上大瀬線	1994	32				■						■		
7	大瀬川橋	大瀬川線	1982	44	■					■						
14	有田橋	中央線	1965	61				■						■		
27	第二鍛冶屋段橋	尻無本線	1975	51		■					■					
28	第2尻無橋	尻無本線	1955	71	■					■						
31	筒田橋	筒田桐野線	1991	35			■					■				
32	第2鍋石橋	鍋石線	1986	40	■					■						
33	陳之尾坂橋	内田陳之尾坂線	1982	44	■					■						
36	野中橋	山下弓木野線	1955	71				■						■		
38	第2横ヶ倉橋	横ヶ倉線	1969	57	■				■							
42	宇都口橋	大川本線	1997	29				■						■		
44	川畑浦橋	大川本線	1936	90				■						■		
46	五本松橋	五本松支線	1987	39				■						■		
47	八郷中橋	八郷笠山線	1956	70				■						■		
48	八郷上橋	八郷笠山線	1956	70	■					■						
50	第2八郷橋	八郷本線	1989	37				■						■		
55	第1黒之浜橋	黒之浜深田線	1954	72			■					■				
57	米山橋	瀬之浦笠山線	1961	65			■					■				
59	黒十橋	丸岡支線	1965	61					■							
62	瀬之浦上原橋	上原の場線	1978	48					■					■		
64	芋洗橋	膳崎線	1993	33					■							
66	鍋石橋	鍋石中線	1966	60			■					■				
70	第4折口鍋石橋	折口鍋石線	1960	66	■					■						
74	田島橋	田島線	1993	33				■						■		
76	第2大迫橋	牟田大迫線	1956	70	■					■						

表 7-1 計画一覧表 (3/5)

【 凡 例 】 ■ : 設計 ■ : 工事 ■ : 点検

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	供用年数	対策時期										補修工事費用 (千円)	対策内容
					R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
77	根比橋	根比線	1954	72												
78	太山橋	大山神社線	1958	68												
82	第2中面橋	大下小川内線	1945	81												
84	大下上桑橋	大下上桑線	1961	65												
85	つて川内橋	内田東つて川内線	1986	40												
87	内田陳之尾坂橋	内田陳之尾坂線	1954	72												
91	第1大迫橋	大迫日暮線	1962	64												
98	波留用水路橋	波留線	1957	69												
102	第2小松田橋	遠矢太郎原線	1949	77												
103	太郎原橋	遠矢太郎原線	1971	55												
105	鷺ヶ峰橋	鷺ヶ峰線	1985	41												
110	鎌津倉橋	治次郎線	1964	62												
118	尾原第四橋	尾原線	1970	56												
126	第3下越橋	飛松下越平線	1993	33												
132	北平橋	北平線	1968	58												
134	牟礼橋	牟礼線	1955	71												
137	榎木丸橋	榎木丸線	1959	67												
141	黒木場橋	黒木場線	1948	78												
143	第1小麦橋	大角線	1973	53												
155	鶴見4号橋	若葉公園西線	1981	45												
156	鶴見5号橋	若葉公園東線	1980	46												
160	第2唐田橋	園田内田線	1992	34												
166	中尾橋	阿久根出水線	1988	38												
172	飛松戸線1号橋	飛松戸線	1993	33												
194	石之丸橋	多田中央線	1980	46												
196	文殊院橋	阿久根出水線	1988	38												
199	伽藍橋	羽田葎野線	1967	59												
204	尾原第二橋	尾原線	1977	49												
205	一筒橋	一筒線	1977	49												
208	長迫橋	大川西口線	1980	46												
210	竹之迫橋	尻無松岡線	1972	54												
223	蛭橋	中央線	2006	20												
12	赤淵橋	中央線	1979	47												
35	徳ヶ山橋	山下弓木野線	1982	44												
52	滝之鼻橋	瀬崎山線	1970	56												
58	京田橋	瀬之浦京田線	1973	53												
104	青竜橋	青竜線	1978	48												
145	南畑橋	南畑線	1971	55												
153	鶴見2号橋	鶴見公園西線	1981	45												
158	日暮橋	大迫下桑線	1996	30												
168	底広橋	山下尾崎線	1988	38												
177	金山橋	田代中線	1992	34												
8	嶋迫橋	下村瀬之浦線	1979	47												
9	瀬之浦橋	下村瀬之浦線	1979	47												
10	的場橋	下村瀬之浦線	1996	30												
11	早馬橋	上原桐野線	1947	79												

表 7-1 計画一覧表 (4/5)

【 凡 例 】 ■ :設計 ■ :工事 ■ :点検

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	供用年数	対策時期										補修工事費用 (千円)	対策内容
					R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
17	新桑原城橋	牧内桑原城線	1969	57			■						■			
23	柿内橋	尻無木線	1971	55	■						■					
25	岩下橋	尻無木線	1976	50	■						■					
26	第一殿治屋政橋	尻無木線	1976	50	■						■					
34	池ノ上橋	波留大曲線	1957	69	■						■					
40	黒仁田橋	牛之浜本之牟礼線	1964	62				■						■		
41	北崎橋	大川本線	1958	68				■						■		
53	第2滝之鼻橋	瀬崎山線	1970	56					■							
56	古里村中橋	古里宇都山線	1988	38			■						■			
61	竜ヶ追橋	早馬竜ヶ追線	1985	41			■						■			
68	第2折口鍋石橋	折口鍋石線	1960	66	■						■					
69	第3折口鍋石橋	折口鍋石線	1960	66		■					■					
80	前田橋	内田大下線	1981	45				■						■		
81	第1中面橋	大下小川内線	1945	81	■						■					
93	長谷橋	赤淵長谷線	1954	72			■						■			
94	長谷村中橋	県道長谷線	1965	61			■						■			
95	上鶴橋	上鶴線	1969	57			■						■			
96	牧内橋	羽田牧内線	1967	59	■						■					
97	轟橋	唐田大尾線	1988	38	■						■					
101	第1小松田橋	山下中線	1949	77	■						■					
109	治次郎橋	治次郎線	1961	65				■						■		
113	藤ヶ段橋	藤ヶ段線	1954	72			■						■			
115	第2永原橋	永原線	1963	63				■						■		
116	尾原橋	尾原線	1970	56				■						■		
120	東米次橋	東米次線	1969	57			■						■			
123	田之神橋	木佐木野西線	1989	37			■						■			
129	稲牟礼橋	稲牟礼線	1988	38			■						■			
133	山之田橋	山仁田線	1973	53				■						■		
135	吉之追橋	吉之追線	1982	44				■						■		
154	鶴見3号橋	鶴見中央線	1980	46				■						■		
161	上桑橋	赤淵長谷線	1993	33			■						■			
162	黒傘田橋	赤淵長谷線	1994	32			■						■			
163	高石橋	阿久根出水線	1985	41				■						■		
164	北山橋	阿久根出水線	1988	38				■						■		
169	鷹ノ首橋	洗出し線	1969	57				■						■		
171	大田線1号橋	大田線	1992	34			■						■			
173	飛松杉線2号橋	飛松杉線	1993	33				■						■		
176	田代中橋	田代中線	1992	34			■						■			
178	櫻ノ谷橋	山下尾崎線	1988	38			■						■			
182	鍋石橋	鍋石線	1953	73				■						■		
183	大丸橋	陳之尾大下線	1983	43				■						■		
218	八幡橋	山下尾崎線	1987	39				■						■		
219	陣之尾橋	陳之尾丸内線	1994	32				■						■		
220	西目大橋	阿久根出水線	1991	35				■						■		
13	木船橋	中央線	1972	54			■						■			
30	小瀬谷橋	小瀬松ヶ根線	2004	22			■						■			

表 7-1 計画一覧表 (5/5)

【 凡 例 】 ■ : 設計 ■ : 工事 ■ : 点検

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	供用年数	対策時期										補修工事費用 (千円)	対策内容
					R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
159	第2下桑橋	大迫下桑線	1997	29												
226	梶橋	洗出し線	2001	25												
2	黒中橋	大渡黒之上線	1966	60												
4	江月橋	橋之浦深田線	2018	8												
5	新地橋	橋之浦深田線	2019	7												
6	鳴子橋	橋之浦深田線	1985	41												
20	第二飛松橋	飛松落線	1950	76												
21	飛松橋	飛松落線	1934	92												
22	白岩橋	飛松落線	1950	76												
24	寺下橋	尻無本線	1969	57												
39	横ヶ倉橋	横ヶ倉線	1953	73												
45	今越橋	大川今越線	1967	59												
51	小渡橋	小渡中線	1953	73												
60	平床橋	瀬之浦平床線	1958	68												
65	丁里追橋	丁里追線	1965	61												
71	第5折口鍋石橋	折口鍋石線	1960	66												
72	新川橋	折口本線	1935	91												
73	新川橋(歩道橋)	折口本線	1992	34												
89	長蓮橋	園田内田線	1986	40												
99	穴追橋	宮原穴追線	1957	69												
111	茶門ヶ段橋	茶門ヶ段支線	1983	43												
121	第2米次橋	南米次線	1969	57												
130	松峯橋	馬見塚柵線	1990	36												
147	ぐんの木橋	グンノ本線	1971	55												
149	住吉橋	新町小松原通り線	1955	71												
152	本町水路2号橋	本町河野線	2022	4												
157	本町水路橋	本町3号線	2022	4												
167	石山橋	山下尾崎線	1988	38												
180	内田橋	中央線	1979	47												
184	下内田橋	内田陳之尾坂線	1966	60												
187	第二大川橋	尻無大川線	1963	63												
188	月見橋	黒之浜深田線	1979	47												
201	前川原橋	下田代線	1959	67												
213	尻無橋	尻無浜大通り線	1963	63												
215	高松跨線橋	栄町2号線	1966	60												
222	二千年橋	中央線	2001	25												
29	鶴見第一橋	3-5-7線	1978	48												
79	丸内橋	丸内野田線	1977	49												
140	屋敷村橋	屋敷村線	1972	54												
18	佐潟橋3号	高之口佐潟線	2022	4												
19	佐潟橋2号	高之口佐潟線	2022	4												
補修設計			合計 (橋)	0	0	0	0	2	2	0	0	0		※令和5年度以前に補修設計済橋梁		
補修設計			設計費 (千円)	0	0	0	0	10,000	10,000	0	0	0				
補修工事			合計 (橋)	2	4	2	7	6	2	2	0	0				
補修工事			工事費 (千円)	154,808	161,951	185,967	227,358	48,471	1,654	89,080	0	0				
橋梁点検			合計 (橋)	22	36	44	124	0	22	36	44	124				
橋梁点検			点検費 (千円)	5,170	8,460	10,340	29,140	0	5,170	8,460	10,340	29,140				
合計 (千円)				159,978	170,411	196,307	256,498	58,471	16,824	97,540	10,340	29,140				

8. 長寿命化修繕計画による事業費削減効果の算定

架設後50年で更新（橋梁の架け替え）を行う『事後的修繕』と、損傷が大きくなる前に補修等を実施する『修繕計画』において、50年間の総事業費用を比較した結果、『事後的修繕』が146.9億円なのに対し、『修繕計画』は33.2億円となり、計画策定による事業費用の低減効果（77.4%）を確認できました。

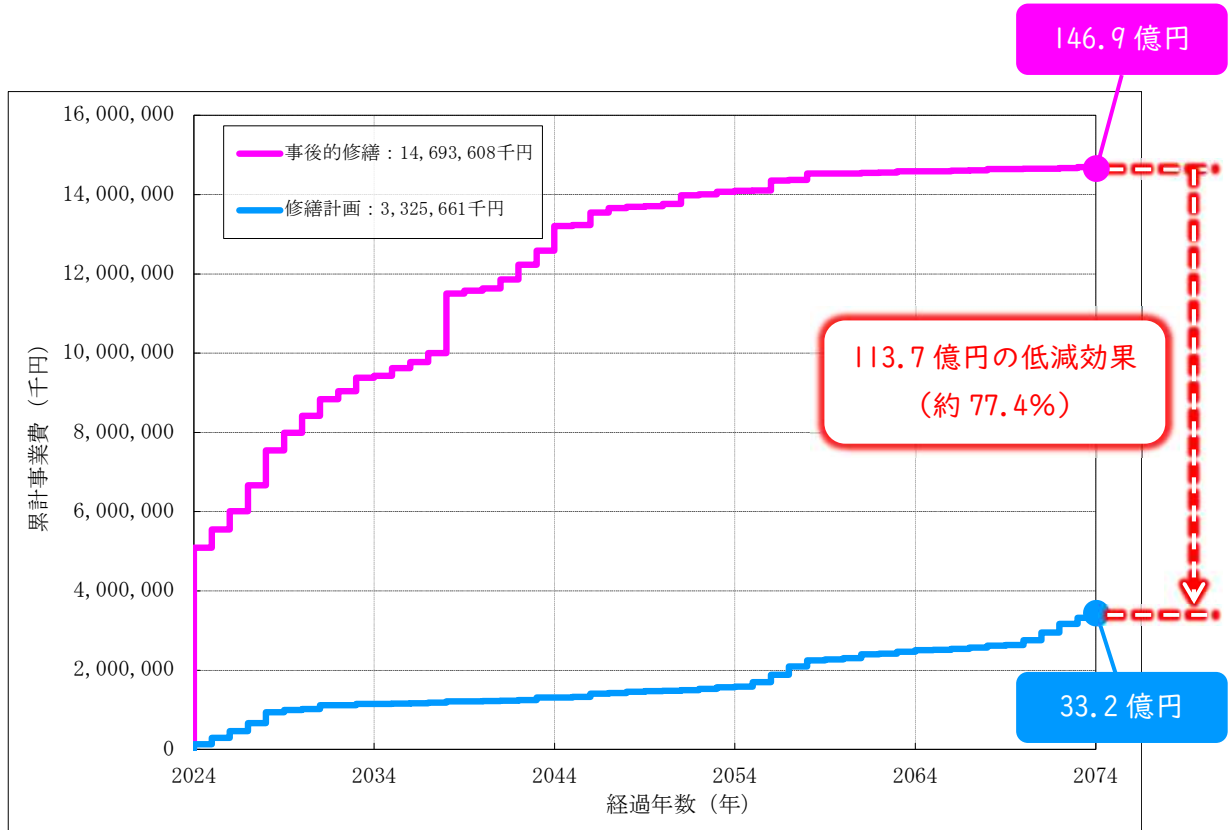


図 8-1 長寿命化修繕計画の事業費低減効果